

2018年度第3回 町田市子ども・子育て会議

議事要旨

【開催概要】

日 時：2018年10月4日（木）
会 場：市庁舎 会議室 3-1

【議事次第】

- 1 開 会
- 2 事務連絡
- 3 議 題
 - ・「新・町田市子どもマスタープラン（後期）」の計画の体系（案）検討について
- 4 報 告
 - （1）2018年度保育施設等の整備について
 - （2）マイ保育園（子育て広場）事業の計画見直しについて
 - （3）町田市子ども創造キャンパスひなた村の指定管理者の指定について
 - （4）ユニセフ日本型子どもにやさしいまちモデルの検証作業への参加について
- 5 その他
- 6 閉 会

【配布資料】

- 資料1 新・町田市子どもマスタープラン（後期計画）に含まれる計画と国の動向
- 資料2 新・町田市子どもマスタープラン（後期）の体系の検討
- 資料3 2018年度保育施設等の整備について
- 資料4 マイ保育園（子育て広場）事業の計画見直しについて
- 資料5 町田市子ども創造キャンパスひなた村の指定管理者の指定について

2018年度 第3回町田市子ども・子育て会議 委員出席者

子ども・子育て会議 委員

| 氏名 | 所属 | 出欠 |
|--------|-------------------|----|
| ◎金子 和正 | 東京家政学院大学 | 出 |
| ○吉永 真理 | 昭和薬科大学 | 出 |
| 小林 保子 | 鎌倉女子大学 | 出 |
| 平林 剛 | 東京弁護士会 | 出 |
| 齋藤 祐善 | 町田市私立幼稚園協会 | 出 |
| 関野 鎮雄 | 町田市法人立保育園協会 | 出 |
| 馬場 昭乃 | 町田市社会福祉協議会 | 出 |
| 田部井 眞 | 社会福祉法人ボワ・すみれ福祉会 | 出 |
| 土田 昇 | 町田市公立小学校校長会 | 出 |
| 吉田 知弘 | 町田市公立中学校校長会 | 欠 |
| 森山 知也 | 東京都立町田の丘学園 | 出 |
| 川崎 文子 | 町田市民生委員児童委員協議会 | 出 |
| 菅原 純 | 町田市中学校PTA連合会 | 出 |
| 豊川 達記 | 町田市医師会 | 出 |
| 澤井 宏行 | 町田商工会議所 | 出 |
| 山田 牧子 | 市民 | 出 |
| 田崎 賢二 | 市民 | 出 |
| 川口 雅子 | 町田市青少年委員の会 | 出 |
| 酒井 恵子 | 町田市障がい児・者を守る会すみれ会 | 出 |

◎会長 ○副会長

・備考： 傍聴者（5名）

2018年度 第3回町田市子ども・子育て会議 事務局出席者

| 氏 名 | 所 属 |
|--------|-------------------------|
| 三橋 薫 | 子ども生活部部长 |
| 石坂 泰弘 | 子ども生活部子ども総務課課長 |
| 鈴木 敬之 | 子ども生活部児童青少年課課長 |
| 押切 健二 | 子ども生活部保育・幼稚園課課長 |
| 鈴木 亘 | 子ども生活部子育て推進課課長 |
| 田村 裕 | 子ども生活部子ども家庭支援センター長 |
| 山之内 敦郎 | 子ども生活部子ども発達支援課課長 |
| 本吉 仁志 | 子ども生活部子ども発達支援課相談・療育担当課長 |
| 永野 修 | 子ども生活部大地沢青少年センター所長 |
| 櫻井 敦 | 地域福祉部障がい福祉課課長 |
| 河合 江美 | 保健所保健予防課次長兼課長 |
| 金木 圭一 | 学校教育部指導課指導室長兼課長 |

子ども総務課事務局：石崎 進、吉田 織子、石川 浩二

【議事内容】

1 開会

子ども総務課担当課長：みなさま、こんばんは。本日はお忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。定刻となりましたので、ただ今から 2018 年度第 3 回町田市子ども・子育て会議を開催いたします。

2 事務連絡

子ども総務課担当課長：本日は、吉田委員から欠席のご連絡をいただいております。半数以上の委員の出席をいただいておりますので、会議は有効に成立しております。また、会議の運営支援のため、株名豊が参加いたします。議事要旨作成のため、会議の内容を録音させていただきますので、ご了解ください。

本日の会議は、1 時間程度を目安に進行していきたいと思っておりますので、ご協力のほど、よろしく願いいたします。

会議の公開についてですが、本日は 5 名の方が傍聴を希望されています。特にご意見がないようでしたら、公開とするということによろしいですか。

一同：（異議なし、傍聴人入室）

それでは、傍聴の方も入室されましたので、2018 年度第 3 回町田市子ども・子育て会議を進めさせていただきます。

■資料の確認

〔資料 1～5 の確認〕

子ども総務課担当課長：以後の進行については、金子会長にお願いします。

3 議題

「新・町田市子どもマスタープラン（後期）」の計画の体系（案）検討について

金子会長：「新・町田市子どもマスタープラン（後期）」の計画の体系（案）について、事務局より説明をお願いします。

〔資料 1～2 の説明〕

金子会長：今日の議題の本題になるマスタープラン（後期）の計画の体系（案）として、「目指す姿」「施策の方向性」、特に今日皆さんに考えていただきたい「施策の方向

性」の説明がありました。資料2の左側に「前期計画の体系」があります。赤い字のところは前回の会議の意見をまとめたところです。また、右端には会議で出た意見が赤い四角、庁内検討会で検討された意見は青い四角となっています。資料1については、法律の説明なので解釈がわからないところについては説明していただきながら、後期計画の体系、施策の方向をもう少しわかりやすいようにしたほうがよいといったところを勘案しながらまとまっていけばよいと思います。いかがでしょうか。

齊藤委員：資料2の(1)「子どもが主体的に参加できる力や意見を発信できる力をはぐくむ」や、「①コミュニケーション能力を育てる」といったように、育つ主体が子どもなのに、育てるほうが主体になっている部分はいくつか見られます。子ども主体というようにしていただけると嬉しいです。例えば、コミュニケーション能力を大人が育てるのではなく、育つ環境を整えるといったような表現の問題だと思います。教育要領や保育指針の改訂などもすべて子どもの視点に変わっていますのでよろしくお願いいたします。

吉永副会長：今のご意見に追加ですが、そういった観点から見ると、Ⅱの(1)のところで「子育て」という言葉が入っていたのですが、後期のほうではそれが抜けています。何か理由があるのですか。切れ目のない教育と切れ目のない子育て支援はあるのですが、切れ目のない子ども支援がありません。また、「思春期」という言葉もなくなりました。乳幼児期の子どもや小学校の子どもというのは、バラバラに教育や子育て支援のところで網羅されているのはわかるのですが、ずっとその1人の子どものことを町田市の仕組みの中で子育てを支えているというところが見えなくなってしまうと思います。特に中高生のところは、後期で支援が薄くなっているところがあるので、せめて「子育て」を入れてくださるとよいと思います。あるいは、居場所のところにそういった概念が含まれているのかはわかりませんが、町田市はちゃんとやっているのにそれが出ていないと思います。

子ども総務課長：今回の考え方としては、基本目標1のほうに子どもの主体のものを、基本目標2のほうに親子といったものを集めることを考えております。「子育て」というのは、要素としてはどちらかという基本目標1のほうではないかということで、いただいたキーワードのほうも切れ目のない教育、子ども支援というのは上のほうで扱っていきたいということで、基本目標2からは「子育て」という言葉を除かせ

ていただきました。

吉永副会長：1番目のほうの「切れ目のない教育」の下に「切れ目のない子ども支援」など入れたほうがよいです。教育だけではなく、コミュニケーションだけではないケアの部分も入れたほうがよいのではないのでしょうか。

小林委員：子どもが主体ということで、「目指す姿」が子どもの姿だとしたら、前回のほうが子どもの姿だと思います。「子どもの遊びや体験が大切にされ、主体的に参加し意見表明できる」というのが「子どもの姿」になっています。それが、子ども主体とした今回の後期の「目指す姿」のほうは「子どもが主体的に参加できる力や意見を発信できる力をはぐくむ」となっています。「はぐくむ」というのは、誰かがはぐくむということになるので、姿ではなくなったのではないかという気がします。その下も「伸ばす」とありますが、それも誰かが伸ばすのですよね。前は「大人になっていく力をつける」ということで、自分でつけるということも考えられます。表現が施策的な「目指す姿」になったという気がし、矛盾を感じます。施策の方向で「コミュニケーション能力を育てる」というのは、逆にいうと施策なので「育てる」でよいと思います。「主体的に意見を発信できる力をもつ」であれば、そのための「育てる」といった施策はよいと思います。目指す姿は子どもで、施策は方法論に整理したほうがわかりやすいと思います。

金子会長：そのようにすると全体的に的確になってきてよいかもしれません。

吉永副会長：「父親の子育て参加を進める」とありますが、表現が古いと感じます。父親の子育て参加を今頃進めたらダメなのではないかと思います。「父親の子育てを支える」のほうがよいと思います。今から参加させたら遅すぎる気がします。既にやっ
ていらっしゃる方もたくさんいる中で、この表現でいいのでしょうか。

齊藤委員：前の「共同」のほうがよいと思います。これだと1人で育てるのかと思います。

関野委員：今の発言を受けて思ったのですが、この時期保育園では運動会などの行事がたくさんあり、多くの保護者の方が参加しています。今年の運動会は、台風のため平日に急遽延期しました。保護者の方も平日の運動会ということではなかなか集まらないと思ったのですが、予想をはるかに上回る保護者の方に参加していただきました。父親の参加もとても多かったです。ですから、今おっしゃられたように父親の子育て参加を今から進めるというイメージの言葉は確かに時代遅れなのではないかと思います。延期については、前々日にお便りを出したのですが、早速職場にいて休

暇を取りなおさなければという声が聞こえてきました。本当にそのようなかたちで父親の子育て参加は進んでいます。マスタープランも今回は後期ということですので、更に一步進めた目標、目指す姿、施策の方向になっていくとよりよいと感じました。

子ども生活部長：「父親の子育て参加を進める」についてですが、前回父親の育児参加がまだ足りないのではないかとのご発言をいただきました。それを受け、事務局で検討し、より目立たせるために「父親の」というように突出させた面がございます。今ご発言いただきました表現にするか、それとも共同とするのか、この場で検討していただければと思います。

田崎委員：前回その意見を私が申し上げました。私からすると、今回の改善のほうが目につきます。確かに保育園や幼稚園についてはそう思います。ただ、小学校になって保護者会にどれだけの人が出ているかというところ、ほぼゼロだと思います。じゃあお父さんの参加は幼児教育でよいのかというところが、私が今問題にしているところですね。前期のものから変わっていくということを考えるのであれば、市の強いメッセージを言葉に出していただいたほうが、町田市としての気持ちももっと伝わるのではないかと思います。

金子会長：私の世代で「参加」というイメージはよいことだと思います。みなさんからは次の世代ということでご意見をいただいたのですが、参加というのは残したほうがよいのではないかと自分的には思いました。参加という言葉はまだ死語ではないと思います。必要な言葉は大體施策の方向に入っていると思います。後は言葉の微妙な助詞の使い方、「する」「させる」など、行政が前面に見えてきてしまうのはよくないと思います。自発的にできるような表現にできればよいと思います。また、言葉のレベルですが、細かいことも入れ始めたらどんどん増えていきますので、これくらいの概念がちょうどよいのではないかと思います。

4 報告

金子会長：報告をしていただき、その後質疑を行いたいと思います。

〔事務局による、報告事項（１）～（４）の報告〕

金子会長：ただいまの４件について、何かご質問等がありますか。

関野委員：資料４の「マイ保育園（子育て広場）事業の計画見直しについて」です。これ

は報告事項ということなのですが、子ども・子育て会議で審議もなく報告されたというところに私どもとしては違和感がございます。例えば、今必要な地域に新規園の参入ということがありましたが、町田地区、鶴川地区はプラスマイナス 0、南地区はプラス 1、堺地区はマイナス 1、忠生地区がマイナス 5 と報告がありました。実際この地域ごとに子育て広場事業を行っている施設は何園あって、その中で何園減になるのでしょうか。特に忠生はいきなり 5 件ですので、どれくらい減るのか委員のみなさんに伝わらないと思います。実施園数に偏りがあるというところを委員のみなさんに報告していただきたいと思います。

子育て推進課長：まず堺地域ですが、Ⅰ型、Ⅱ型は現在 6 施設になります。これを 1 施設減で 5 施設にしたいと思います。Ⅲ型については、2 施設ございます。これについて、変更はございません。次に忠生地域になります。Ⅰ型、Ⅱ型で、現在 8 施設ございます。これを 3 施設減で 5 施設にしたいと考えております。Ⅲ型については、現在 4 施設ございます。これを 2 施設減で 2 施設にしたいと思います。先ほどもご説明しましたが、Ⅳ型については 1 施設ございますが変更はございません。増える南地域になります。Ⅰ型、Ⅱ型については、現在 13 施設です。これについて、変更はございません。Ⅲ型については、基本的には 5 日間やっている充実したものになります。現在の 2 施設に 1 施設増で 3 施設にしたいと考えております。

関野委員：いろいろな理由がある中で、実施施設数の変更などには一定の理解はしなければいけないと思っています。Ⅰ型とⅡ型というのは先ほど類型の説明がありましたが、かなり実施内容に違いがございまして。その中でⅠ型とⅡ型をまとめて、そこから 1 つ減らすあるいは 3 つ減らすということになると、例えばⅠ型は情報提供と年に数回の広場の実施というところで若干弱い事業を行っているところです。Ⅰ型とⅡ型を忠生地区で 8 施設から 5 施設に減らした中で、Ⅱ型が減っていってしまうと、忠生はⅠ型しかやらないといったイメージを私は今感じました。その辺は市のほうでどのような考えをお持ちなのでしょうか。

子育て推進課長：おっしゃる通りで、Ⅱ型はⅠ型を網羅しておりますので、なるべくⅡ型を優先しております。ただ、そこは選考に関わる部分になりますので、考え方だけお示しさせていただきます。

関野委員：子育て広場事業を行うにあたり、毎月保育園では担当職員の報告を市役所に出しております。プラスマイナスでいうとマイナス 5 施設ですが、マイナス施設は来

年度6施設です。2年先、3年先であれば施設の体制は先を見越して考えていくことができると思うのですが、半年先ということであると施設の体制をどうするのかというところで大変困っているのではないかと思います。落ちてからだと思うのですが、その園の人たちは職員の配置を考えていかなければいけません。市役所のほうでは職員を支えていく計画があるのかお聞きしたいです。

子育て推進課長：実際にはそのようなことがないように、今年に入ってからなるべく早い時期に協会のほうには少しずつ情報提供してきたつもりではあります。その中でいろいろとお話をいただいたところではあります。ただ、あくまでも事業費の一部を補助するようなものになっておりますので、実際に保育園が行う事業について、財政的な支援をするものと考えております。広場事業自体をやってはいけないというものでもありませんし、引き続きやっていただければありがたいと思っております。Ⅱ型については、専任ではなく兼任になります。そこも少し違うのではないかと思います。Ⅲ型、Ⅳ型については非常勤の専任や常勤の専任という違いはあります。

齊藤委員：Ⅲ型、Ⅳ型を行っておりますと、施設整備を伴い、職員は専任です。そのときⅡ型まではよいのですが、Ⅲ型も減らす対象に入っています。類型もさることながら、施設は返さなければいけないのかという話も出てきますし、面積変更届もおそらく12月に出さなければいけなくなります。そうすると間に合わなくなります。スケジュールも含めて、保育園協会は厳しい状況に置かれるという認識でおります。今までやってきたものを、1年前からでなく夏くらいに話して、12月に決めて、やっぱりあなたたちはやらないでくださいとなったときに、どのような影響が出るかに関してはきちんとフォローをしていただける体制だけにはつくっていただかないといけません。今までお願いしていたのにやっぱりやめたというのはかなり厳しいということを理解してください。

子育て推進課長：実際のところ、お子さん、保護者も含めて利用の活発なところは選考の中で少なくとも反映をしていきたいと考えております。ただ、利用がない、実績がないところもいくつかあります。そこにも同額の補助金が交付されているところは、やはり市としては考えていかなければいけないと思っております。

川口委員：資料5のひなた村の指定管理者について質問があります。ひなた村が行う主な事業のところに細かい事業は含まれていると思います。私も青少年委員をやっておりイベント等のお手伝いなどをさせていただいております。年に2回行っているお

祭りと、小学生が対象になっている子ども同士の創作童話といったイベントについては、今後通常通り行われるのでしょうか。大幅に変わるものと変わらないものの変更等が詳しくここに書かれていないのでお伺いしたいです。

児童青少年課長：ひなた村の業務につきましては、今実際に行っている業務すべてが変わらないかというところではございません。指定管理を入れるにあたっては、民間事業者のノウハウを導入することでサービスの向上を図っていくことがねらいの一つです。そのノウハウが活かされるような事業展開であって、かつ、こういった分野の運営等に精通していればよいという仕様書にさせていただいております。また、今お話がありました創作童話につきましては、指定管理者の業務ではなく市の業務として継続していきたいと考えております。また、ひなた村で年に2回行っているお祭りについては、これから指定管理者の事業者と協定を交わすということになります。続けていただきたいというお声もいただいておりますので、その声については指定業者のほうにお伝えしたいと考えております。

5 その他

金子会長：なければ質疑を終了して、進行を事務局にお返しします。

6 閉会

子ども総務課長：金子会長、ありがとうございました。ご議論いただきました新・町田市子どもマスタープラン（後期）の体系に関するご意見などにつきましては、事務局へ10月12日金曜日までにいただければと思いますのでよろしくお願ひいたします。次回の会議ですが11月15日木曜日となります。場所は、この会場とは変わりました、市庁舎2階の市民協働おうえんルームとなります。以上をもちまして、2018年度第3回町田市子ども・子育て会議を閉会いたします。皆さま、ありがとうございました。